



# 自動起動 装置付き 防災ラジオの利用拡大を

## 鈴木えつお議員とともに市に申し入れました



担当課長（手前）に申し入れる（右から）荒木てつ市議  
予定候補と鈴木えつお議員（10月31日、市役所内）

市「再来年度に実施できるよう検討していく」

「防災無線が聞こえない。有料でもいいから防災ラジオを利用できる  
ようにしてほしい」岩戸南の市民から要望が寄せられました。

10月30日、岩戸南4丁目に住む市民から「この地域は防災行政無線が聞こえない。災害時に聞こえないのは本当に困る。家の中で防災行政無線が聞こえる防災ラジオを有料でもいいから利用できるようにしてほしい」という要望が寄せられました。

狛江市では今年1月から、避難行動要支援者で個別避難計画を

策定された方を対象に、自動起動装置付き防災ラジオ（写真左・スイッチを切ついても狛江市の防災情報が発信されると自動的に起動し聞こえる）を無償で貸し出す制度が始まりましたが、利用できる対象者が、まだまだ少なすぎます。現在、貸出は約700台に留まっています。

荒木てつ市議予定候補は翌31日、鈴木えつお議員とともに防災ラジオの利用拡大について市に申し入れ、避難行動要支援者でなくても一般の市民が一定の自己負担で利用できる仕組みをつくるように求めました（写真上）。

担当の佐渡一宏・福祉政策課長は、現在貸し出している防災ラ



ジオを見せながら防災情報の受信の仕組みを説明するとともに、今後の利用の拡大について「再

来年度に実施できるよう検討していく」と答えました。

荒木てつ市議予定候補は「市も前向きに検討するとのことではよかったです。災害時に一刻も早い避難を促すなど、防災情報の伝達は市民の命にかかわる大事な取り組みです。自動起動装置付き防災ラジオが、広く市民に普及し災害時の避難等が機敏にスムーズに行えるよう、防災ラジオの利用拡大に取り組んでいきます」と語っています。

### 荒木てつ「なんでも相談」

#### 【荒木てつの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

事務所：☎ & fax 5497-2435





# 学校給食費の無償化促進を

## 都知事・都教育長に要請。荒木てつも参加



要請行動で発言する荒木てつ氏（11月7日、都議会内）



参加者みんなで都に要請文を手渡し（中央）。右端が荒木てつ氏

### 日本共産党都議団・区市町村議員団

11月7日、日本共産党都委員会・都議団・区市町村議員団は都議会内で、小池都知事と浜佳葉子教育長宛てに、「学校給食費の無償化促進を求める要請」文を提出しました。狛江市の荒木てつ氏も参加しました。要請では物価高騰の中、給食費が重い負担となっているとして、①都として学校給食費無償化へ財政支援を行うこと。②地方創生臨時交付金を活用した給食費の値上げ抑制が継続できるように国に求めること。③「義務教育は無償」を定めた憲法第26条に即し、学校給食費の無償化を国の財政措置で実施するよう政府に

求めることを求めています。交渉では多くの参加者から、「給食費が払えない家庭がある」という厳しい現状報告があり、「都に財政的支援をお願いしたい」「国に支援を求めてほしい」などの要望が出されました。しかし担当課長の小宮山みき氏は、「都としては、学校給食費は保護者負担という学校給食法の立場に立っている」「都として財政支援するつもりはないし国に働きかけられることもしない。無償にするしないは、区市町村が判断すること」と都民要望に背を向けました。荒木てつ氏は、憲法26条は「義務

教育は無償とする」と規定している。都は無償の範囲はどこまでと考えているのか？」と質問。小宮山課長は「授業料の無徴収が無償の範囲で、これは最高裁の判例である」と答えました。しかしこの判例でも、授業料以外の費用負担が限度を超え、子どもへの教育を受ける権利を実質的に侵害する場合には違憲となると解釈されています。

文部科学省の調査でも、公立小学校で一人約32万円、中学校で一人約49万円もの学習費がかかっています。なかでも学校給食費の負担は重く、小学生2人、中学生1人のお子さんがいる場合、狛江市の学校給食費は年14万4千円にもなります。

#### 荒木てつ氏の話

「学校給食は教育の一環です。葛飾区や市川市は来年4月からの無償化を決めました。みなさんと力を合わせて、学校給食費の無償化にがんばります」と語っています。

### 荒木てつ「なんでも相談」

【荒木てつの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp





# 南部地域の交通利便の改善を

- ①南北直通のバス路線を増やして下さい
- ②地域を回る乗り合いタクシー等を検討して下さい
- ③こまバスの増便、双方向運行を検討して下さい



南部地域の交通利便の改善について住民と一緒に交渉する荒木てつ氏（右から2人目）と鈴木えつお議員（その左）＝市議会内

## 荒木てつが住民と一緒に市に要望

11月はじめ、猪方の住民から、「目が悪くなり自転車で乗れなくなった。家の近くから慈恵病院に直接行ける交通を考えて欲しい」という要望が荒木てつ市議予定候補に寄せられました。14日、荒木てつ氏は市議会内で、住民の方や鈴木えつお議員と一緒に、南部地域の交通利便の改善について市の道路交通課

に要望しました。

要望事項は、①南北直通のバス路線を増やすこと②地域をきめ細かく回る小型バスやワゴン車を使った乗り合いタクシーの導入の検討③こまバスの増便や双方向運行などです。

南部地域から路線バスで慈恵病院に行くには、猪江駅で一旦降りて、北口のバス停まで歩き、そこからまたバスに乗って行くことになり、料金も2倍かかります。こまバスは唯一の南北直通のバス路線ですが、本数が少なくバス停も遠い地域があり、慈恵病院等に行くには利便性に欠けます。参加者は、猪江駅南口～喜多見団地のバスや猪江駅南口～世田谷区宇奈根のバスを、慈恵病院まで延伸したり、和泉多摩川駅から慈恵病院を通り国領駅に行くバス路線を新設すること求めました。また小平市などではワゴン車を使った乗り合いタクシーが運行されていることを紹介しました。

あるがとりにくい。

こまバスは南部地域から40分ほどで慈恵まで行けるので利用して欲しい」と答えました。参加者は、①喜多見団地行きバスとこまバスの時刻表の重なる改善②和泉多摩川郵便局付近へのバス停新設③宇奈根行バスの二子玉川への延伸④渋谷駅行きバスの増便も要望しました（裏面に要望書全文）。

### 荒木てつ氏の話

「南部地域では以前から交通利便の改善を求める声が強く、鈴木えつお議員が住民とともに、小田急バスや猪江市に対し交通利便改善の要望を何度も行なってきました。地域の高齢化の中で要望はますます強まっています。私は引き続き南部地域の交通利便改善にとりくみます」

### 荒木てつ「なんでも相談」

【荒木てつの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp





鈴木えつお議員  
の活動ひきつぎ

荒木てっが毎朝駅で宣伝

市民の声をまっすぐ市政に届けます

「通勤通学のみなさん。おはようございます。日本共産党市議予定候補の荒木てっです」

荒木てっ氏が、和泉多摩川駅と狛江駅で朝の宣伝を始めて2カ月近く。鈴木えつお議員の活動をひきついで、月曜日から金曜日までほぼ毎日、自らの活動報告のニュースを配布したり、ハンドマイクで自らの経歴や政策、暮らしや平和を守る日本共産党の政策を訴えています（写真左の上下）。

通勤者や散歩の方から「鈴木さん交代するんですか」「荒木さん、数学の先生だったんですか」「相談したいことがあるんですけど」「私、荒木さんと同級生だったんです」「演説は気持ちを込めて訴えれば相手に響きます」「がんばって

ください」など声がかかりました。

荒木てっ氏は、猪方や駒井町、岩戸南元和泉、東和泉など自らの活動地域でも地域の仲間と一緒に宣伝カーやハンドマイクで毎週訴えています。自ら世話人となっている「平和憲法を広める狛江連絡会」の人たちと一緒に狛江駅で、憲法改悪を許さない署名宣伝活動も行ないました。

荒木てっ氏の話

「通勤の方などが『がんばってください』と声をかけてくれたり、ピラを受け取ってくれたりして元気をもらえます。昔の同級生に何十年かぶりに会って声を交わすこともあります。雨の日もあり大変ですけど続けていきたいです」



狛江駅で平和団体の人々と署名宣伝活動



地域で仲間といっしょに「物価高騰から暮らしを守ろう」と訴え

荒木てっ 「なんでも相談」

【荒木てっの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

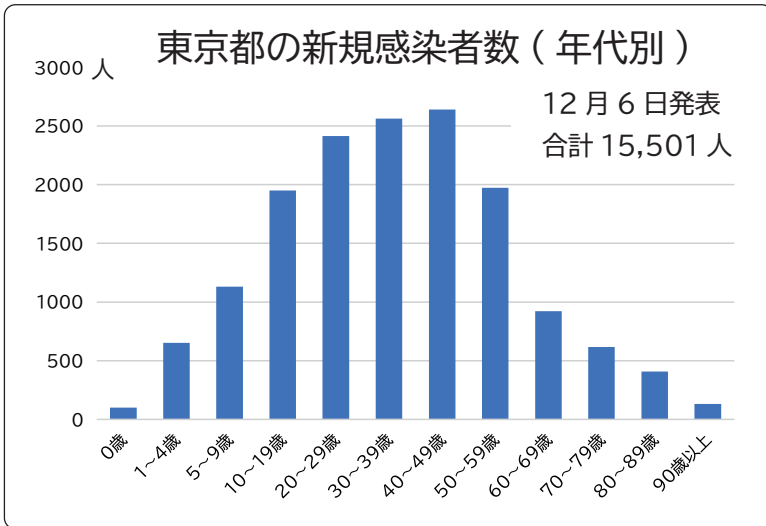
事務所：狛江市猪方 3-37-5

☎ & fax 5497-2435





# 新型コロナ第8波ー感染者が急増 発熱外来の拡充、PCR 検査等拡大を



## 鈴木えつお議員が質問ー荒木てっ氏が傍聴

12月5日の市議会で日本共産党市議団の一般質問が行なわれ、荒木てっ氏が傍聴しました。

鈴木えつお議員は、新型コロナウイルスの第8波で感染者が急増している中、第7波の教訓を生かして、発熱外来診療所の拡大と支援、高齢者施設や学校・保育園等の職員へPCR検査等の拡大、希望する市民に抗原検査キットの配布、市民に感染者数等の情報提供などを求めました。

市側は、6月中旬〜10月中旬の第7波では一日最多2100人の感染者が発生し、高齢者施設では短期間に5人以上の感染者が出た事例が5件あったこと、市民から「発熱したがどうすればよいか」「医療機関を教えて欲しい」などの問い合わせがあつたことなどを答えました。

また、陽性者の自宅に薬剤師等が処方薬を届けた件数は7月から10月までで846件にのぼること、市内に薬局等5カ所の検査場があるが、PCR検査は1カ所、あとは抗原検査となつていくこと、検査キットがなかつたりして検査を断る事例もあつたことを答えました。

発熱外来の拡大等については、「都が臨時のオンライン発熱診療センターを設置すると発表があつた」、PCR検査場の拡大については「新規開設は難しい」、希望する市民への抗原検査キットの配布については「都が発熱のある方や濃厚接触者にキットを配布している」として市独自の取り組みについては消極的でした。

鈴木えつお議員は、国立遺伝学研究所の川上浩一教授が「感染者を減らすために、ワクチン接

種と同じくらい熱心に、市民にまめな検査を推奨すべき」と訴えていることを紹介し検査の拡大を要求しました。また、市民への情報提供については、杉並区など23区では区内の医療機関から届けられた陽性者数を公表しており、狛江市でも公表するよう求めました。

### 荒木てっ氏の話

「傍聴していて、第8波への対応が喫緊の課題となつているのに、検査の拡大など市側の対応があまりに消極的だと感じました。鈴木えつお議員とともに新型コロナ対策の抜本強化を訴えてまいります」

### 荒木てっ 「なんでも相談」

#### 【荒木てっ連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

#### 【鈴木えつお連絡先】

携帯：090-7280-7361





# 新型コロナウイルスの高い感染リスクを示した 調布・狛江に保健所復活を！

## 鈴木えつお議員が質問

### 荒木てつの市議会傍聴記②

#### 陽性者数上位7市のうち5市が多摩府中保健所管内

都が11月設置した「感染症対応に関する都保健所のあり方検討会（仮称）」には、狛江市の小川正美・福祉保健部長がメンバーとして入っています。

多摩府中保健所管内の5市が上位7市に入っており、高い感染リスクを示していることが明らかとなりました（左上グラフ）。

いま多摩府中保健所の管轄人口は全都でトップ、全国11位です。

検討会の資料では、人口10万人当たりの累計陽性者数が、多摩地域では狛江市が1位で、2位武蔵野市、3位西東京市、4位調布市、5位三鷹市で、1位〜5位までが全部23区隣接自治体です。しかも

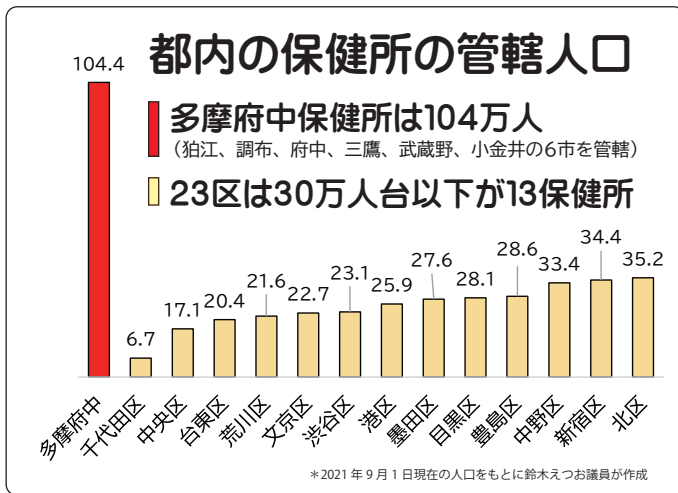
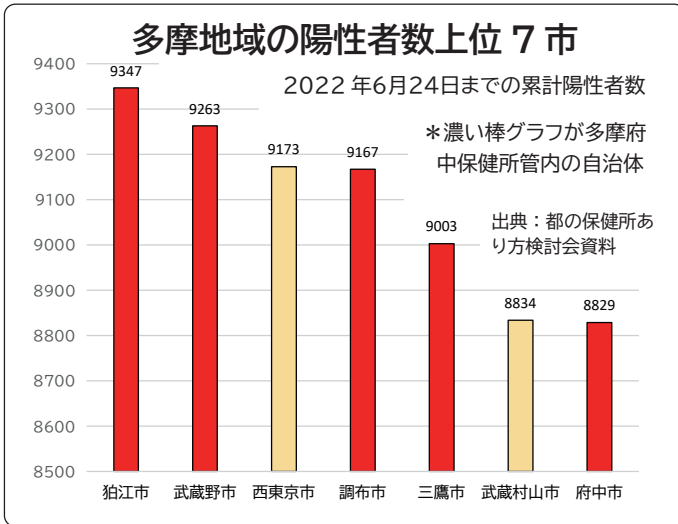
12月5日の本会議で鈴木えつお議員は、「多摩府中保健所の管轄人口104万人は余りに多く、きめ細かく対応できない」として、検討会の中で「調布・狛江への保健

所復活を求める意見を出してほしい」と求めました。

福祉保健部長は「検討会での論点整理に協力しながら、議論の進捗状況を見極め、その上で判断してまいります」と答えました。

#### 荒木てつ氏の話

「狛江市の感染者数が多摩地域でトップであることに驚きました。保健所は市民の命と健康を守る拠点です。自・公都政が廃止した保健所復活を求めていきたい」



#### 荒木てつ「なんでも相談」

##### 【荒木てつの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

##### 【鈴木えつおの連絡先】

携帯：090-7280-7361

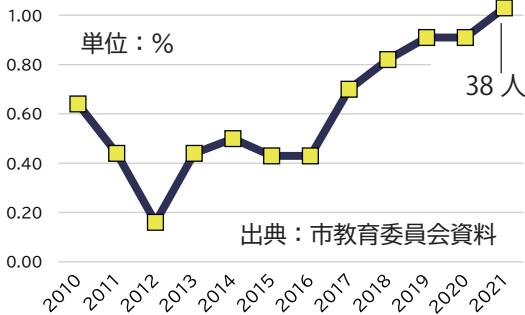




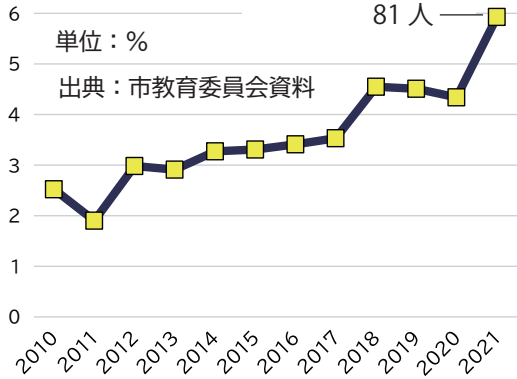
# 不登校の児童・生徒への支援を

- ①特別支援教育の充実
- ②学校・地域の居場所確保
- ③スクールカウンセラー増員を

小学校の不登校児童の割合の推移

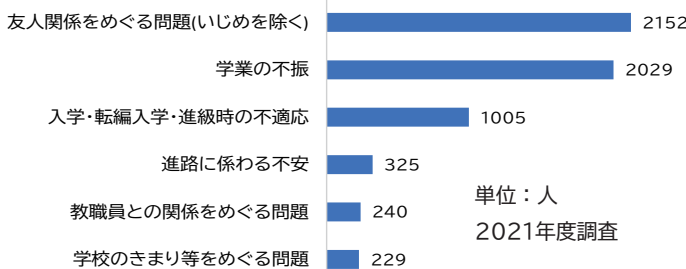


中学校の不登校児童の割合の推移



学校に係わる不登校の要因

出典：都教育庁調査資料



## 鈴木えつお議員が質問

## 荒木てつの市議会傍聴記③

不登校の児童・生徒が年々増えています（左の2つのグラフ）。荒木てつ氏と鈴木えつお議員は11月27日、都のスクールカウンセラーとして働いている臨床心理士の話を伺いました。

その方は「不登校の子には発達障がいのある子が多く、特別支援教育につながれば成長につながる。早期発見、早期支援が必要だが、特別支援教室が不足していて入れない子もいる」「小学校6年生の子で、明け方までゲームをしていて、家族との接触を避けている子もいる。学校に行けない息苦しさを理解する必要がある」「一日4時間なら通い出した子もいた」「教室に行けないときは個室で支援員のひとと過ごすようにする。学校に行くのも大変な子には、音楽、生き物、工作、運動などできる場所が地域に点在してある」と語っていました。

市「スクールカウンセラー」の追加配置を都に要望

鈴木えつお議員は5日の一般質問でこうした話を紹介

した。町に来年2月開設予定の多世代交流拠点でも不登校支

援を求めました。教育部長は「狛江市では特別支援教室が不足していることはない。スクールカウンセラーの追加配置を都に要望しているが実現していない。学校では保健室や別室で短時間登校できるようにしている」と答えました。子ども家庭部長は「地域に安心して過ごせる場所が必要。選択肢を増やしていく必要がある」と答えました。

援のとりくみができるような」と要望しました。荒木てつ氏「現場の話は深刻です。不登校児童生徒への積極な支援が必要。私もその充実にとりくみます」

### 荒木てつ「なんでも相談」

【荒木てつの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072





## 狛江探鳥会の観察会に参加しましたー荒木てっ カイツブリ、コサギなど23種の野鳥を確認



探鳥会の人たちと一緒に多摩川の野鳥を観察する荒木てつ市議予定候補（手前）=11月20日

この日は、対岸の川崎のニテテ領用水の取水口まで行き、道すがら野鳥を観察しました。荒木てつが確認できた野鳥は、次の23種です。

カイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、トビ、オオバン、イカルチドリ、オジロトウネン、イツシギ、ヨリカモメ、セグロカモメ、カワセミ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、スズメ、

多様な生物の恵みを未来にひきつぎます

荒木てつ氏は11月20日、自ら参加する狛江探鳥会の多摩川での観察会に参加しました。荒木てつの観察記を紹介します。

カワセミ。

中州にイカルチドリが7羽で群れているのを観望したが、一遍に7羽も観るのは今回が初めてです。カワセミは川崎側からみて対岸（狛江側）の土の上に2羽いました。カワセミは枝にとまっていることが一番多く、そこから水面をみて狙いをつけて水に飛び込んで魚を捕えます。ホバリングをして水に飛び込むときもありますが、土の上にいたのを観たのは初めてと思います。

先ほどの23種のうち、私が小中学生だった頃、今から50年近くも前ですが、カワウ、オカヨシガモ、カワセミ、オオバンを観察できたことはただの一度もありませんでした。逆に「ミニブク」といつワウの仲間がいるのですが、私が小中学生の頃は、冬場夕暮れ時になると、多摩川の河原の上空を飛んでいる姿をよく観ました。しかし今は、まず観られません。かなりの希少種になってしまっています。

自然の営みは複雑で計り知れませんが、観察会に参加して、たくさん野鳥を観るとほっとします。地球温暖化などによって希少種が絶滅する危険も指摘されています。私は、多様な生物の恵みを未来にひきつぐため気候危機打開なひきつぐべきです。

<狛江探鳥会とは>

狛江探鳥会（由井敏雄代表）は多摩川を中心にバードウォッチングや写真の撮影などを楽しみながら、自然への理解を深めてもらう活動を行っています。アマチュア野鳥写真家の松尾武重さん（故人）が、多摩川に来る人からの「鳥の名前を知りたい」などの要望にこたえ1990年に設立しました。

狛江市が発行した「野鳥と多摩川」（1992年）の編集協力や写真提供を行い、「狛江市生物多様性地域戦略」（2020年3月）策定には由井敏雄代表が参加しました。7・8月を除く毎月第 午前中に多摩水道橋下流の多摩川を1時間30分ほど歩いて、水辺や河川敷にいる鳥を望遠鏡や双眼鏡で観察したりします。その活動は、2018年10月の「わっこ」で詳しく紹介されました。

会員は市内を中心に約50人で、会費は年1,000円または月200円。

問い合わせは、☎080-2094-8822由井敏雄さん。

### 荒木てつ 「なんでも相談」

#### 【荒木てつの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

#### 【鈴木えつおの連絡先】

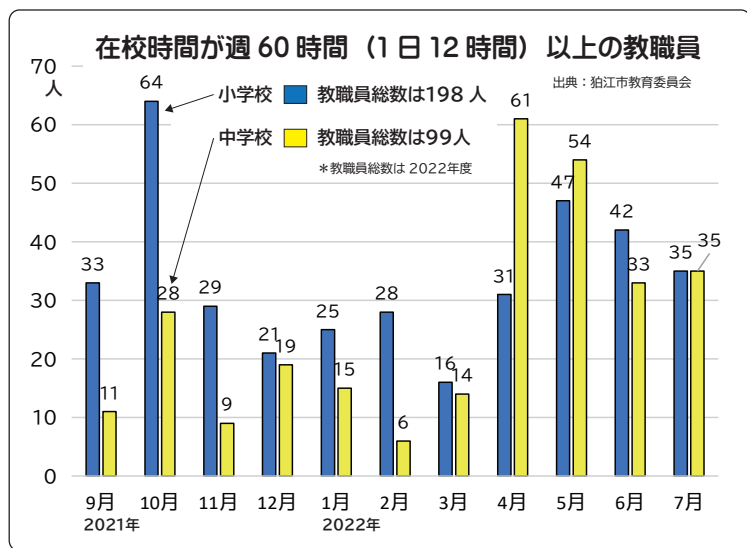
携帯：090-7280-7361







# 教員不足の解消、教職員の長時間労働の解消へ 教職員定数を引上げ 教職員の増員を



## 国への意見書ー市議会が賛成多数で可決

### 日本共産党が呼びかけー反対は自民・明政ク

狛江市議会は12月19日の本会議で、日本共産党が呼びかけ立憲・平井議員・松崎議員の共同提案となつた「ゆきとごいた教育の実現と教員不足の解消、教職員の長時間労働解消へ、教職員の増員を求める意見書」(国と国会宛)を賛成多数で可決しました。日本共産党の鈴木えつお議員が提案し、西村あつ子議員が賛成討論を行いました。

反対は自民党・明政クラブ(辻村議員は最初手を挙げましたがすぐ下げたため後で)で賛否を確認。意見書は「教員不足、教職員の長時間労働が社会問題になっている」「狛江市では小中学校で、半数以上の教職員が月45時間以上の時間外勤務を行なっている月が多くなっている。時間外の勤務時間が月80時間を超える教員、月100時間を超える教員も出ている」として「教職員定数を引上げ教職員を増員するよう強く求める」と述べています。

のための準備整理、その他校務一般に充当するという考え方である」と説明していました。

東京都教育長会の「令和5年度教育施策及び予算措置に関する要望書」でも、教材研究や分掌業務等、勤務時間外に現在行なっている業務を、勤務時間内で実施できる体制を整備することが不可欠であるとして、「小・中学校教員の持ち時数上限の引き下げ」を政府に要望しています。

教員定数を初めて法律で定めたのは1958年ですが、そのとき佐藤三樹太郎・文部省財務課長補佐は、「1教員あたりの標準指導時数」は「1週24時限をもって標準とした」(当時は6日制)「したがって1日平均4時限となるが、これは1日の勤務時間8時間のうち、休憩時間を含み4時間を正規の教科指導にあて、残り4時間を教科外指導のほか、指導

荒木てっ生活教育相談室長の話「教職員からは『教材研究ができなくて、子どもたちに申し訳ない』など悲痛とも言える声が出されています。日本の教育の公的支出の割合は、OECD加盟国の平均を大きく下回っています。教育予算を増やして教職員を抜本増員すべきです。自民党・明政クラブが討論もせず意見書に反対したのは許せません。教育現場の深刻な状況をどう考えているのでしょうか」

### 荒木てっ「なんでも相談」

【荒木てっの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp



# 日本の教育予算の現状と日本共産党の財源提案

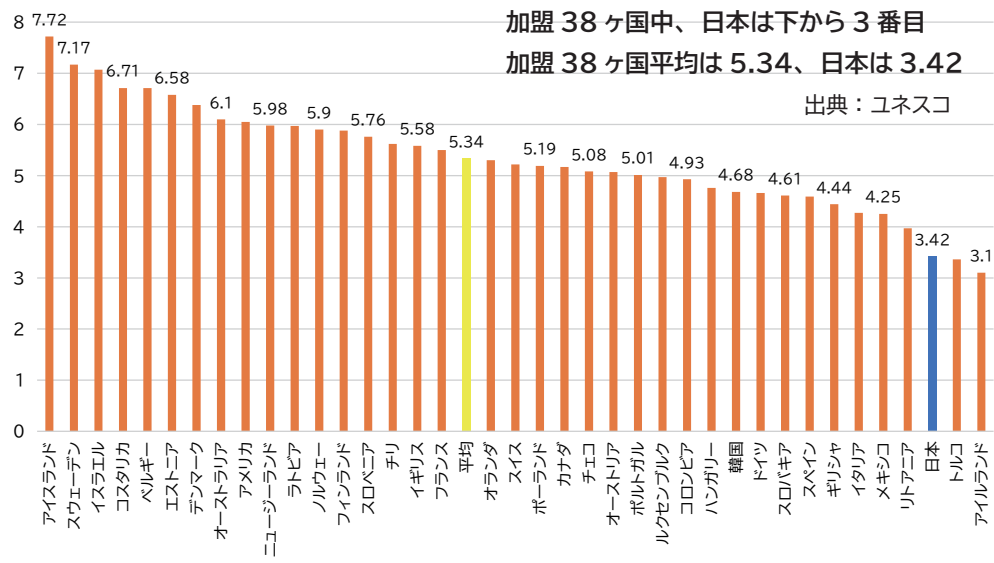
日本の教育予算はOECD諸国の平均よりかなり低くなっています。 3・42ですが平均は5・34で大きな開きがあります。 総授業数の増加に見合った教職員定数の改善で「1日4コマ」に戻すために必要な教員数は現状の2割増、約9万人増。 日本共産党はこれを、10年計画で実現しようとしています。 この財源は左記にあるように、大企業や富裕層に応分の負担を求める税制改革で確保できます。 5年で総額43兆円もの大軍拡に反対し、暮らしや教育に回すよう要求することも大切です。

2020年の公的教育費のGDP比は、OECD加盟38ヶ国中、日本は下から3番目です（左上グラフ）。日本はOECD加盟38ヶ国平均の5.34%に引上げられたい」と要望しています。 必要な予算は国と地方あわせて58兆円です。

「OECD諸国の平均である5%まで引き上げられたい」と要望しています。 必要な予算は国と地方あわせて58兆円です。

## OECD 加盟国の公的教育費の対 GDP 比

単位%、2020年、公的教育支出は国、地方自治体すべてを含む支出



### 小学校教育の充実に関する文教施策並びに予算についての要望書 令和4年7月11日 全国連合小学校長会

- 教育先進国として教育費は未来への投資であることをふまえ、公財政教育支出のGDP費について、OECD諸国の平均である5%まで引上げられたい。
- 公立義務教育諸学校の教職員基礎定数をより一層改善するとともに、教員一人当たりの持ち授業時数の考え方を導入することなどにより、様々な教育課題解決のための教員定数を拡充し、教員の長時間勤務の実態の改善、活力ある学校どくりの一層の充実を図られたい。

### 日本共産党の財源提案

大企業の内部留保金は500兆円超。日本共産党はコロナ禍でも富を蓄積している大企業・富裕層に応分の負担を求めて財源を確保します。5年で43兆円もの大軍拡を中止するなどムダ使いにメスを入れます。消費税5%への減税、最低賃金引上げなどで、国民の消費購買力高めて経済を活性化、財政再建につなげます。

#### 【具体的な財源確保策 合計約 20 兆円】

- 研究開発減税など大企業優遇税制を是正、法人税率を以前の28%に戻す（中小企業を除く）…約8兆円
- 富裕層の株取引への課税強化など…約3兆円
- 5億円超の資産への課税などの富裕税創設…約3兆円
- 大軍拡の中止、攻撃的兵器の削減、大型開発や原発推進予算の見直しなど…約5兆円



猪方 4-12-10 番地先の階段 ①



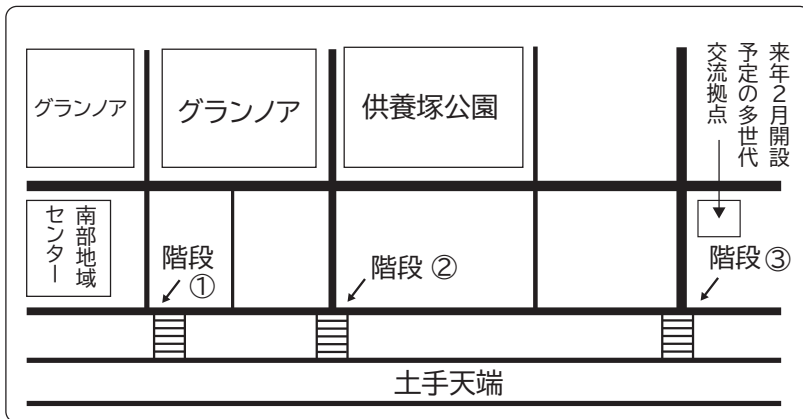
駒井町 3-5-11 番地先の階段 ②



駒井町 3-7-15 番地先の階段 ③

# 多摩川土手階段の手すり 下段にも追加設置

## 12月19日に3カ所設置



**猪方樋管の階段にも年度内に設置予定**

12月19日、多摩川の階段の手すりが追加設置されました。

国が管理する上段部分には手すりが設置されたのに、市が管理する下段部分には設置されなかったため、付近住民から「上り下りするときに危ないので下段にも設置を」との要望が寄せられ、鈴木えつお議員が、昨年7月に市と国土交通省に手すりの追加設置を要望していたものです。

昨年12月議会では鈴木議員が一般質問でとりあげ、市は「手すりの設置については、以前より京浜河川事務所に要望をし猪方築堤工事の際にも要望し箇所については設置していただいた。しかし既存

**荒木てっ 「なんでも相談」**

【荒木てっの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp



の（下段の）階段部分には予算と工期の都合上、手すりは設置しないとの考えから現在の状態となっている。下段部分については現在、同事務所と施工方法、設置時期を含め調整している」「猪方排水樋管部は今後、市で遠隔制御化工事を予定しており、この工事に合わせ手すりを設置できるよう調整している」と答えていました。

その後、本年10月に鈴木えつお議員が市に問い合わせたこと市側は「11月下旬から12月上旬にかけて設置する予定」「猪方排水樋管部分については今年度中に設置予定」と答えていました。

荒木てっ生活教育相談室長の話  
 「訪問活動の中でも住民から要望が寄せられました。追加設置されて本当によかったです。鈴木えつお議員と一緒にひきつづき身近な要求実現にがんばります」



# 市民アンケートで寄せられた カーブミラー設置など要望しました



市民アンケートに寄せられた要望を市道路交通課長に手渡す鈴木えつお議員（中央）と荒木てっ氏（その右）

=12月22日、狛江市議会内

鈴木えつお議員と荒木てっ氏は、12月22日、市民アンケートに寄せられたカーブミラー設置などの要望10件を遠藤克哉・市道路交通課長に伝え改善を申し入れました。

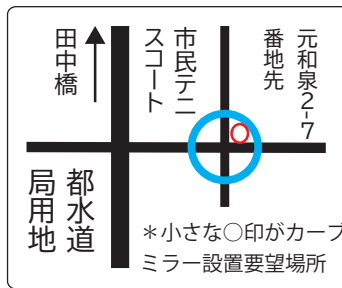
下図はそのうち主なもの5件です。遠藤課長は「カーブミラー関係予算は今年度分は使い切りましたので設置するにしても来年度になる」と「ヤ」の出口は「ヤ」側の責任なので市では設置できない。ヤヒロ側が公道上に設置したいと言えば市は許可す

## 鈴木えつお議員と荒木てっ

日本共産党狛江市  
生活教育相談室長

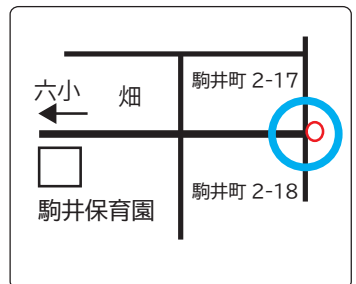
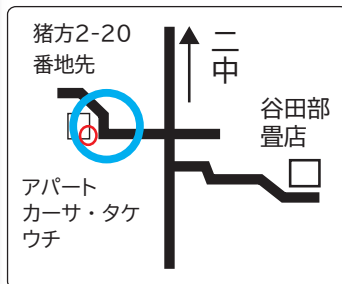
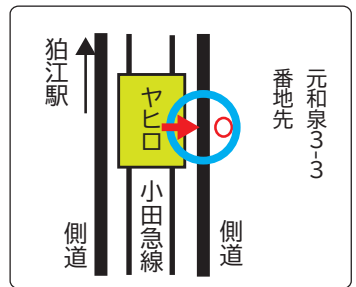
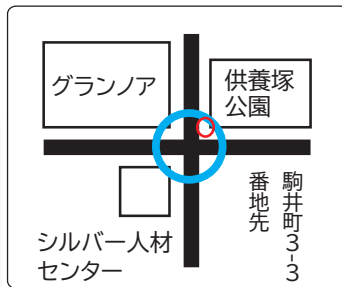


カーブミラーの設置場所などを課長に説明する鈴木えつお議員と荒木てっ氏



る「猪駒通りのガタガタは来年度、猪方3-30番地先の和泉園という花屋さんがあったところ周辺を改修する」など回答しました。

荒木てっ氏は「ひきつづき実現までがんばります」と語っています。



**荒木てっ 「なんでも相談」**

【荒木てっの連絡先】  
自宅：猪方 3-14-14  
☎3480-5047  
携帯：090-2447-4072  
mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

【鈴木えつおの連絡先】  
携帯：090-7280-7361



# 荒木てっ氏が防災士の試験に合格

荒木てっ氏が防災士の試験に合格しました。荒木氏の報告を掲載します。

◇ 12月15・16日に千代田区九段にある防災士研修センターで防災士の研修を受け、防災士の試験に合格しました。

◇ 研修の中で最も印象深かったのは、元NHK記者で現在は大学の先生をしてあらわれる隈本邦彦先生の講義でした。

◇ 隈本先生は元NHK記者の経験から、メディアは過去に起きた災害の最も重要な教訓を伝えきれない、と考えていて、その観点からすれば自分の行った過去の報道も不十分だったという思いが悔いとして残っているとあつ

しゃっていました。例えば、阪神大震災の最大の教訓は「耐震性の高い住宅に住むことが大切」ということなのに、未だにそのことをメディアは十分に伝えておらず、住宅の耐震化はまだまだ進んでいないという事です。

◇ 今後、自分が防災士として活動するとき、過去の災害の教訓をしっかり受け継ぎ、まずは、自分の家、自分の身近なところから防災対策を始めなくてはならないと思います。一・中地区の避難所運営協議会に加えていただき実際の訓練にも参加したいと思えます。

◇ 日本防災士機構は、阪神・淡路大震災の教訓の伝承と市民による新しい防災へのと

りくみを推進するために、2002年（平成14年）に創設されました。

◇ 全国の地方自治体等において防災士養成のとりくみが進められ、それぞれの地域の自主防災組織や学校、福祉施設等で防災士の配置・活用の動きが広がっています。

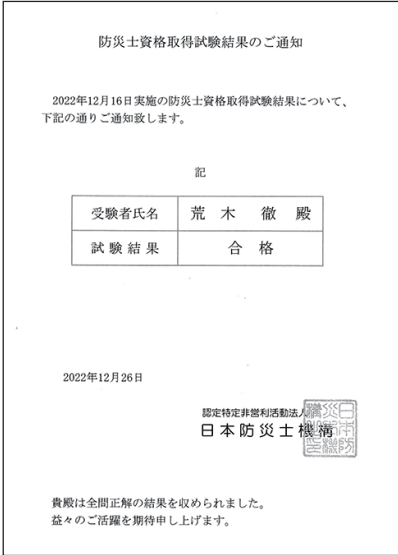
◇ 防災士は、自分の安全は自分で守るを基本としつつ、発災直後における初期消火、避難誘導、避難所開設などを住民自身の手で行うため、地域や職場の人たちと協力して、災害への備えや防災訓練を進めます。大規模災害が発生した際には、それぞれが可能な範囲で被災地救援・支援活動にとりくみます。

◇ 昨年11月末現在、

◇ 全国で24万人余、東京都2万人余が登録されています。鈴木えつお議員も防災士の資格を持ち六小の避難所運営協議会に参加しています。

◇ 市内には、自主防災組織として、「狛江市防災会」と「狛江市避難所運営協議会」があります。防災会は、市内各地区ごとに支部を構成し、市内全域をカバーしています。避難所運営協議会は、発災時に、避難所の開設や運営などを地域住民の手で行う組織です。学校での訓練などを実施し、いざというときに備えています。

◇



防災士資格の取得試験の合格通知



**荒木てっ 「なんでも相談」**

【荒木てっの連絡先】  
 自宅：猪方 3-14-14  
 ☎3480-5047  
 携帯：090-2447-4072  
 mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

【鈴木えつおの連絡先】  
 携帯：090-7280-7361





## ①猪方樋管の階段にも手すりが完成



多摩川階段への手すり設置については2018年2月に駒井町の高齢者から「散歩するとき土手に登る階段の段差が高くて怖い。手すりが欲しい」という声が寄せられ、鈴木えつお議員は同年6月議会での質問を皮切りに、くりかえし手すりの設置を求めてきました。

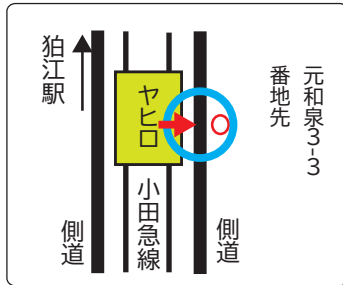
1月13日に猪方樋管の階段に手すりが設置されました（写真）。ここは市の管理している階段ですが、国も市も設置しなかつたため、手すりがまったくありませんでした。そのため鈴木えつお議員が、2021年12月議会で、他の階段とともに手すりの設置を求め、市は「猪方排水樋管部は今後、遠隔制御化工事を予定しており、この工事に合わせ手すりを設置できるよう調整していく」と答えていました。

18年から鈴木議員が要望

## ②カーブミラー設置をヤヒロ店長に要請



スーパー・ヤヒロの出口



以前から寄せられていた。本部と相談したい」と述べました。ひきつづき、実現にがんばります。

店長「本部と相談する」  
1月21日、私、荒木てつと鈴木えつお議員は、和泉多摩川駅のスーパー・ヤヒロを訪れ、店長に「日本共産党市議団が行なっているアンケートに、ヤヒロの出口へのカーブミラー設置の要望が寄せられた。市に申し入れたら市は『ヤヒロの出口はヤヒロ側の責任なので市では設置できない。ヤヒロ側が公道上に設置したいと言えば市は許可する』と言っていた。ぜひ設置を検討できないか」と要望しました。

## ③殺人事件の現場周辺を回り要望を聴く

荒木てつ「なんでも相談」  
【荒木てつの連絡先】  
自宅：猪方 3-14-14  
☎3480-5047  
携帯：090-2447-4072  
【鈴木えつおの連絡先】  
携帯：090-7280-7361

1月20日と21日、私、荒木てつと鈴木えつお議員は、殺人事件が発生した駒井町3丁目現場付近の住宅を訪問、意見要望を聴いて回りました。  
「閑静な住宅街での殺人事件で驚いている」「殺されたおばあちゃんは買い物でかけるのでその時お会いした。気丈な方でした」「マスコミと警察の人が何人も聴き込みに来た」「事件のあった2日前の夜、犬の散歩に出たら現場の家では大勢の人が集まって飲み会でもやっているような感じだった」などの声が寄せられました。鈴木議員宅にもマスコミ3社から問い合わせがありました。早く犯人が捕まり安心して生活できるよう願っています。

このニュースが見られます。鈴木えつおのホームページ →





# 市内事業所、事務所、店舗等向け 電気料金高騰への支援金を活用しましょう

## <対象者、支援額、受付期限>

- ①昨年10月1日現在、市内に所在する事業所、事務所、店舗等
- ②昨年4月～9月の電気料金が、前年より2割以上増加していること
- ③支援金の額：昨年4～9月と前年同時期との電気料の差額分  
法人は上限10万円、個人事業者は上限5万円
- ④受付機関：2月22日（水）まで

## <申請方法>

- ①オンラインで申請します。
- ②わからない場合は、市役所2階の地域活性課窓口で教えてください
- ③電気代の領収書がない場合は、通帳の写しや振込控えでも OK です

## <問い合わせ>

03-3430-1237 狛江市・地域活性課・地域振興係



物価高騰が市民生活を  
圧迫しています。狛江市で  
は昨年11月から市内事業  
所への電気代の支援金を支  
給しています。すでに10  
0件以上の申請がありま  
す。

市内の事業所、事務所、  
店舗等で、昨年4月～9月  
までの電気代が前  
年同期と比較し  
2割以上増えてい  
る場合は、その差  
額が支援金とし  
て支給されます。

## 電気料支援金の計算方法

2022年度		2021年度	
4月		4月	
5月		5月	
6月		6月	
7月		7月	
8月		8月	
9月		9月	
合計A		合計B	

\*  $A \div B$  が 1.2 以上であれば支援金の対象  
\*  $A - B = C$  C が支援金の額

法人は上限10  
万円、個人事業  
主は上限5万円で  
す。オンラインで  
の申請ですが、わ  
からない場合は市  
役所2階の地域  
活性課に行くとき  
は、私、荒木てっ  
も一緒にお手伝  
いします。

## 荒木てっ「なんでも相談」

【荒木てっの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

このニュースが見ら  
れます。鈴木えつお  
のホームページ →





てっちゃん  
ニュース  
第15号

狛江で育ち 教師 33年  
荒木てつ

鈴木えつお議員から  
バトンタッチ

日本共産党 市議予定候補  
党狛江市生活教育相談室長

## 感染症対策の拠点

# 調布・狛江に保健所復活を！

## 対都交渉で強く求めましたー荒木てつ



東京都の新年度予算発表を前に、日本共産党都議や区市町村議員、同予定候補が1月24日、都に予算要望を申し入れました。私、荒木てつも参加し、特に調布・狛江への保健所復活を強く求めました（写真）。

保健所の体制強化、増設については多くの人が発言しましたが、私、荒木てつは、「狛江を管轄する多摩府中保健所の管轄人口が104万人と余りに多く、きめ細かく対応できない。多摩地域では狛江市の感染者数が人口比で一番多く、多摩府中保健所



保健所の管轄人口や感染路リスクのグラフを示して訴える荒木氏（1月24日、都議会内）



管内の狛江、武蔵野、調布、三鷹、府中の5市が感染者数上位7市に入っている。多摩府中保健所の管轄地域は感染リスクが大変高い地域になっている。ぜひ地域住民の健康を守るために調布・狛江に保健所を復活させてほしい」と強く訴えました。

しかし都の担当者の回答は「いま『都保健所の在り方検討会』で検討している」というもので明確なものではありませんでした。

私、荒木てつは、署名運動も行ないながら調布・狛江に保健所を復活させるため、ひきつづきがんばります。

この日、日本共産党が都に申し入れた要望の主なものは、以下を含め延べ122人の議員・予定候補者が参加しました。

この要請行動には、オンラインも含め延べ122人の議員・予定候補者が参加しました。

下のとおりです。

- ジェンダー平等については▽男女賃金格差の是正▽選択的夫婦別姓の実現・助成差別撤廃条約選択議定書の批准を国に求めること▽性暴力対策の抜本的強化。
- 福祉については▽独立行政法人化された都立病院を直営に戻すこと▽多摩地域の保健所増設▽18歳までの医療費無料化について所得制限を無くすこと▽補聴器購入助成制度の拡充、●環境については▽温室効果ガス削減目標の引き上げを国に求めること▽再生可能エネルギーの導入支援

### 荒木てつ「なんでも相談」

【荒木てつの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp





# 毎朝の駅頭宣伝がんばっています

## 市政への要望も寄せられますー荒木てつ



狛江駅でハンドマイクで訴え

私、荒木てつは、鈴木えつお議員の活動をひきつぎ、昨年10月から狛江駅と和泉多摩川駅で早朝駅頭宣伝を平日毎朝行なっています（左下表参照）。

鈴木えつお議員も一緒に宣伝しています（写真）。1月、2月は寒い日が続いていますが、通勤者から「がんばってください」「応援しています」と激励の声がかけられたり、「ボール遊びできる公園がほしい」「共産党市議団が行なっている市民アンケートに要望を書いたので届けます」など市政等への要望も寄せられ、元気をもらっています。



通勤者から要望も寄せられます・和泉多摩川駅

### 荒木てつの早朝駅頭宣伝

月曜日：和泉多摩川駅・狛江高校側  
 火曜日：狛江駅南口  
 水曜日：和泉多摩川駅・商店街側  
 木曜日：狛江駅南口  
 金曜日：和泉多摩川駅・ヤヒロ側

\*平日毎朝 6時30分～8時30分  
 \*市政への要望、相談ごとなどお寄せ下さい

地域の訪問活動のなかでも「私が高校生のころ鈴木さんが朝、狛江駅で宣伝していて、励まされました」「選挙でないときでも駅で宣伝していて、手渡されるビラをみて市政の動きを知ることができました」などの声が



狛江駅南口でビラまき

### 荒木てつ「なんでも相談」

【荒木てつの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14  
☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

【鈴木えつおの連絡先】

携帯：090-7280-7361



よせられます。

私、荒木てつも、毎朝の駅頭宣伝を継続していきたいと思っています。

市政への要望やお困りごとなどぜひお気軽にお寄せ下さい。



てっちゃん  
ニュース  
第17号

狛江で育ち 教師 33年  
荒木てつ

鈴木えつお議員から  
バトンタッチ

防災士

日本共産党 市議予定候補  
党狛江市生活教育相談室長

# 人体に有害な有機フッ素化合物 (PFAS=ピーファス) 多摩地域の井戸水から検出、34本取水停止 — 狛江市の井戸からも検出 —



吉良よし子、山添拓両参院議員が高濃度の汚染が検出された国分寺市東恋ヶ窪の浄水施設を視察＝2日

## 日本共産党が都に安全対策を要請 荒木てつも参加しました

多摩地域の水道水に使われる井戸水から、発がん性など人体に有害と指摘される有機フッ素化合物 (PFAS=ピーファス) が広範囲で見つかっています。都水道局は、多摩地域のうち、34本を高い濃度のPFAS汚染が見つかったとして取水を止め、これらの井戸は現在も停止中です。

濃度でPFASが検出されたことがある浄水所は、21自治体40浄水所にのぼっています。国の水道水の暫定目標値の2倍にあたる、1リットルあたり100ナノグラムを超える汚染が見つかっているのは、府中、調布、小金井、小平、国分寺、国立の6自治体です。さらに、40〜99ナノグラムの汚染が見つかっているのは立川、日野、西東京、狛江、東久留米と5自治体あります。

都水道局がホームページで公開している、各浄水所でのPFASの検出状況のデータを見ると、2004年頃から21年度までの間で、何らかの

2月3日には、日本共産党都議団と区市町村議員・予定候補が都に、PFASによる地下水・水道水汚染について、定期的な調査と安全対策を要望しました。私、荒木てつも参加しました。要請の主な内容は以下の通りです。

- ◇ 1. 水源の井戸水を年に数回調査し、PFASが検出されている水源井戸は運用、取水を停止すること。
- ◇ 2. 災害用井戸、環境調査井戸、農業用井戸などについても調査を行い、暫定基準値を超える場合は飲料水、農作物用には使用を停止すること。
- ◇ 3. PFASによる地下水汚染の原因調査をすすめて。特に米軍が泡

消火剤による消火訓練を行ってきたことをふまえて、横田基地周辺のPFAS汚染状況を調査すること。

◇ 4. 都としてPFASの血中濃度の疫学調査を行うこと。住民に対してPFASの危険性についての情報提供と注意喚起を行うこと。

都の回答は「調査や情報提供は現状で十分行っている、PFASを除去することは技術的に難しい、米軍基地を調査することは難しい」というもので、積極的に現状を改善していくという意志に欠ける回答でした。

私、荒木てつはPFASについて、さらに勉強し、市民の健康を守るために頑張ります。

### 荒木てつ「なんでも相談」

#### 【荒木てつの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

#### 【鈴木えつおの連絡先】

携帯：090-7280-7361





てっちゃん  
ニュース  
第18号

猪江で育ち 教師 33年  
荒木てつ

鈴木えつお議員から  
バトンタッチ  
防災士  
日本共産党 市議予定候補  
党猪江市生活教育相談室長

# 猪駒通り交番付近の安全対策を 市「効果的な対策を検討していく」



安全対策が求められる猪駒通り猪方交番前



ハンプ（道路の一部を山のように盛り上げて車の速度を抑制するもの）が設置された横断歩道。自動車速度の低減をはかり、歩道と車道の段差が小さくなりスムーズに横断できる

## 鈴木えつお議員が質問

私、荒木てつは、2月28日の市議会での鈴木えつお議員の質問を傍聴しました。

日本共産党市議団はいま市政アンケートを実施していますが、南部地域で寄せられた要望では、猪駒通りの安全対策についての要望が強く出されました（囲み記事参照）。

猪駒通りは全線に渡って危険な状況ですが、今回特に、猪方交番前の安全対策の要望が強く出され、鈴木えつお議員は、寄せられた声を紹介し「事故の起らないよう対策を」と質問しました。

小俣・都市建設部長は「猪方交番前は、PTAや第6小学校より危険箇所対策として要望がある場所です。路面表示や看板設置など出来る範囲での新たな対策を進め、警察への取締りの要望を含め効果的な対策を検討していく」と答えました。

鈴木えつお議員は「藤沢市などは交差点

部に、ハンプ（写真）を設置することで

車の速度の低減をはかり、歩道と横断歩道との段差が小さくなることで、歩行者が通行しやすくなる工夫をしている。ぜひ検討してほしい」と質問しました。小俣部長は「調査研究していく」と答えました。

## 日本共産党市議団の市政アンケートに寄せられた声

- 猪方交番の十字路がもう少し見晴らしがよくなればと思う。猪方交番の前のカーブを毎日、センターラインをかなり超えて、とても早いスピードで曲がってくる車がいる。近所に住んでいて歩道も狭いし、怖いと強く感じます
- 猪方交番前が通学路で大変危ない。減速を促すもつと目立つ看板などを設置するか、交通安全の警察やボランティアを配備してほしい。実際、そのカーブの歩道に車が突っ込む事故が数年前にあり。通学中だったら子ども達が危なかった
- 猪方交番前の横断歩道を二中方向に渡ると歩道が狭く傾斜があるため、ベビーカーが非常に押しづらく危険。何度もベビーカーが傾き倒れそうになったことがある。交通量も多い所なので、事故が起きるのでは…と不安になる

## 荒木てつ「なんでも相談」

【荒木てつの連絡先】  
自宅：猪方 3-14-14  
☎3480-5047  
携帯：090-2447-4072  
mail：techiemi-a@softbank.ne.jp



【鈴木えつおの連絡先】  
携帯：090-7280-7361





# 中学校「聞こえの学級」市内に設置を

## 難聴のお子さんの保護者から切実な要望

鈴木えつお議員が質問

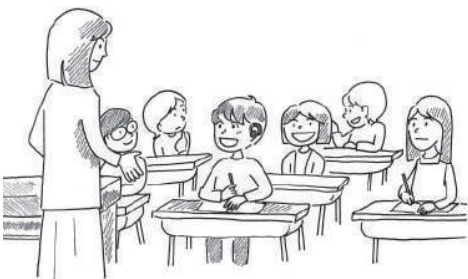
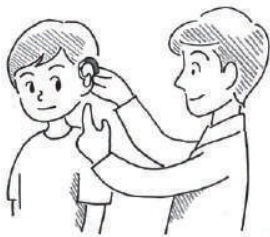
日本共産党市議団が行なっている市政アンケートで大要次のような意見要望が寄せられました。

「我が家には補聴器装用の娘がおります。聴覚障害児への支援が狛江市は足りていないと感じています。通級するのに調布一小まで行っています。中学へ進級すると調布市から通

きこえの学級（難聴学級）がなくなり、武蔵野市、駒沢…と遠方まで通うこととなります。どうか中学校へ

上がる際、難聴児を見てくださる通級クラス、専門の先生の配置のご検討を、どうかどうかお願いしたいです」「二側性（いそぐせい）難聴者（片方の耳が難聴の方）への手当の検討をしてほしい」というものです。

私、荒木てつは、鈴木えつお議員といっしょに、要望を寄せられた方のお話を伺いまし



世田谷区立駒沢中学校の「聞こえの学級」の英検リスニング授業。ホームページより

た。

お話では、お子さんは調布第一小学校の「聞こえの学級」で学ぶ中で、周囲に積極的に聞こえないことを伝えて自己肯定感が高い子に成長しているとのこと。ぜひ市内の中学校に「聞こえの学級」の設置をこのことでした。

### 市「慎重に検討しよう」

鈴木えつお議員は2月28日の一般質問で、こうした声を紹介しながら、「市内の中学校に『聞こえの学級』を早急に設置していただきたい」と求めました。

教育部長は「新たな通級学級設置については、児童生徒数によって学級数や教員数が定められており、学級を維持する観点から持続可能な児童生徒数の見通しが必要です。…今

後の聴覚障がい児童生徒数の推移に注視しつつ、慎重に検討していく必要がある」と答えました。

鈴木えつお議員は「調布市立第一小学校では、狛江市など他市の子どもも受け入れて学級を維持している。誰一人通り残さないという精神で、まずは市内の中学校に『聞こえの学級』の設置要望があることを都教委に伝えてほしい」と要望しました。

難聴のお子さんの今後の人生にかかわる大変切実な要求です。私、荒木てつは、鈴木えつお議員とともに、市内の中学校に「聞こえの学級」を設置するためにがんばります。



### 荒木てつ 「なんでも相談」

【荒木てつの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

【鈴木えつおの連絡先】

携帯：090-7280-7361





てっちゃん  
ニュース

第20号

粕江で育ち 教師 33年  
荒木てつ

鈴木えつお議員から  
パトタッチ

防災士

日本共産党 市議予定候補  
党粕江市生活教育相談室長

# 中央図書館の分割移転は中止し現在地で充実を 市民参加条例違反の疑い—鈴木えつお議員が追及

\*粕江市市民参加と市民協働の推進に関する条例 第5条

市の実施期間は、次に掲げる行政活動を行なおうとするときは、あらかじめ市民参加の手続きを行わなければならない。

(4) 市民の公共の用に供される大規模な施設の設置にかかわる基本計画等の策定、及びその利用や運営に関する方針、またはそれらの変更

\*粕江市市民参加と市民協働の推進に関する条例の基本的考え方 P9

[第1項第4号]「市民の公共の用に供される大規模な施設」とは、広く一般市民が使用する会館、ホール、公園等の公共用の施設をいう。「施設の設置に係る基本計画等の策定及びその利用や運営に関する方針」に加え、「又はそれらの変更」を加えたのは、既存の施設の移転や廃止、統廃合、あるいはそれらによる跡地利用計画（学校統廃合や施設再配置による跡地活用や処分計画等）等も対象に含めることとしたものである。

2月28日の市議会本会議で、鈴木えつお議員は、12月議会にひきつづき、中央図書館の分割・移転問題をとりあげ質問しました。私、荒木てつはじめ多くの市民が傍聴しました。

鈴木えつお議員は最初に、12月議会で市長が、中央図書館の分割移転は市民参加の手続きがされず条例違反ではないかという指摘に対し、矢野市政時代のまちづくり総合プラン策定（2003年3月）を持ち出し「市民参加での議論、基本的でないですよ」などと述べたことについて、大要次のように反論しました。

◇

◇

当時の会議録を読ませていただきましたが、その結果は、松原市長の答弁とはまったく逆で、当時まだ市民参加条例は策定作業中でしたが、矢野市長はじめ市の職員が、まちづくり総合プランを市民参加でつくりあげるために、本当に、多彩な努力を行なってきたということです。当時の記録によると、2002年の4月と2回の広聴会、8月と2回の市民説明会、10月と3回の市長と語る会、12月と2回、市民説明会を実施しました。また2002年10月の広報「まへ臨時号」で、返信用はがきを付け意見を聴取。12月の広報「こまへ」では、まちづくり総合プランの骨格等について掲載しています。

◇

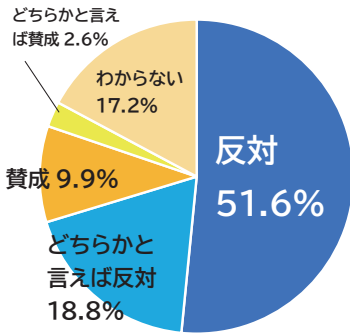
◇

このうえで、鈴木えつお議員は「中央図書館の分割・移転について」

【問い】中央図書館の分割・移転について

12/28

\*日本共産党粕江市議団の市政アンケート結果  
\*集計は約1/3  
(2023年1月1日集計)



## 荒木てつ 「なんでも相談」

【荒木てつの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

【鈴木えつおの連絡先】

携帯：090-7280-7361



は、多くの市民から疑問と反対の声があり、再検討を求め署名が4200筆を超えている。しかも『市民参加条例』の条文や『市民参加条例の基本的考え方』で、既存の施設の移転や廃止についても、あらかじめ市民参加の手続きを行わなければならないとあり、中央図書館の分割・移転については、2020年8月の庁議で決定する前に、市民参加の手続きを行なうべきだったのではないかと質問。

市長は、また長々と答弁しましたが、結局、鈴木えつお議員の質問に答えられませんでした。

地方公務員法では職員に条例遵守を義務づけています。私、荒木てつは不正を許さず、中央図書館を現在地で充実させるための頑張りです。





てっちゃん  
ニュース  
第21号

狛江で育ち 教師 33年  
荒木てつ

鈴木えつお議員から  
バトンタッチ  
防災士  
日本共産党 市議予定候補  
党狛江市生活教育相談室長

# 供養塚公園に防犯カメラ設置へ

## 住民からの要望を受け市に申し入れ



防犯カメラが設置されることになった供養塚公園

### 市議会でも質問—日本共産党

1月末に鈴木えつお議員のもとに駒井町の住民から「先日、強盗殺人という痛ましい事件が身近で起き、恐々と過ごす日々です。供養塚児童公園は、実に多くの色々な人が往來する公園です。にも関わらず街灯が少なく、夜は暗闇に包まれ、その中で誰かが話す声や、ボールの音やタバコの煙などがあり地域住民が安心に過ごせているかといえば、決してそうであるとは言い難い環境に思えます。先日市に周りの街灯をもう少し明るくして欲しいと要望を伝えたくところ、警視庁の街灯基準を満たしているため維持しますとの回答が来ました。また公園での防犯カメラの設置も伝えましたが、予算もあるので

順次という回答でした。事件の解明も過ぎていない中、不安もあり相談させて頂きました」大要以上のような要望でした。

私、荒木てつと鈴木えつお議員は要望をいただいた方を訪問、ご家族のお話しを伺い、また供養塚公園の周辺の状況を見て回りました。その結果、やはり周辺の街路灯は、照度が低く、全体としては暗い感じでした。また真つ暗な朝早くにも見て回りましたが、やはりとても暗く公園の中までは光が届かない状況でした。

#### 明るい街路灯の設置も要望

そのため、2月10日、鈴木えつお議員が、担当の秋山・環境政策課長に、その要望を伝えました。

秋山課長は「1000m以上の公園には防犯カメラを設置する方針なので設置について検討する。街路灯についても検討する」とのことで、18日に要望があった方に報告しました。

3月1日、市議会の一般質問が行なわれ、日本共産党は岡村しん議員が防犯・防災の質問を行ない、環境部長は「供養塚児童公園への防犯カメラの設置については、面積が1000m以上あり、利用者も多いことから、設置に向けて検討してまいりたい」と答弁しました。

#### 堤防道路への街路灯も要望

質問では、多摩川の堤防上の道も大変暗いという要望も寄せられており街路灯の設置を求めました。

都市建設部長は「現在の堤防は、計画堤防断面より小さいため、この堤防内に設置することは、水害時の機能を損なうおそれがあり設置を見送っていた経過がございます。現在、どのような工法であれば街路灯の設置が可能なのか、京浜河川事務所と協議しており工法の確定に向けて協議を進めてまいります」と前向きな答弁でした。ひきつづき安心・安全なまちづくりには全力をつくします。

### 荒木てつ「なんでも相談」

#### 【荒木てつの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14  
☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

#### 【鈴木えつおの連絡先】

携帯：090-7280-7361





**てっちゃん  
ニュース**  
第22号

**猪江**で育ち **教師** 33年  
**荒木てつ**

鈴木えつお議員から  
**バトンタッチ**  
**防災士**  
日本共産党 市議予定候補  
党猪江市生活教育相談室長

# 駒井町3丁目の多世代交流の場 「ふらつとなんぶ」 3月20日オープン

## 子育てや介護など専門職員3人が常駐

3月20日、駒井町の多世代・多機能型交流拠点「ふらつとなんぶ」がオープンします。3月はじめに住民懇談会が行なわれ、私、荒木てつと鈴木えつお議員がそれぞれ参加しました。

最初に「ふらつとなんぶ」を見学、その後、南部地域センターに移動して、どんな施設になったらよいかみんなで意見を出し合いました。写真にあるように施設はかなり整備されていて、室内は広く明るく様々な活動ができる感じでした。

懇談会では「気軽に立ち寄れて食事できる場所」「趣味の活動もできる場所」「不登校の子などの居場所」「ひとり暮らしの方など訪問できることいい」などの声が出されました。市の担当の方の話では、こまえ苑か

ら介護福祉士、社会福祉協議会から社会福祉士、子育てグループの方など3人が常駐することです。

いま計画されていることは、子ども若者向けに①毎週金曜日午後4時～6時に学習支援(7名程度)②水曜日を除く平日の午前9時～午後5時、自主学习スペースの提供(15名程度)③毎週水曜日の午前11時30分～午後3時、居場所・相談の場の提供と各種イベントの企画④水曜日を除く平日の午前9時30分～午後3時、子育ての輪など。高齢者向けには⑤水曜日を除く平日の午前9時～午後5時、生活実態の把握、見守り、相談事の解決⑥水曜日を除く平日の午前9時～午後5時、スマホ教室、趣味の活動、体操、子育て座談会など⑦

この施設は、鈴木えつお議員が2018年9月以来一貫して開設を求めてきたものです。南部地域の福祉の拠点として発展するようお願いしています。

ボランティアも募集しています。

鈴木えつお議員が2018年から開設求めてきた施設



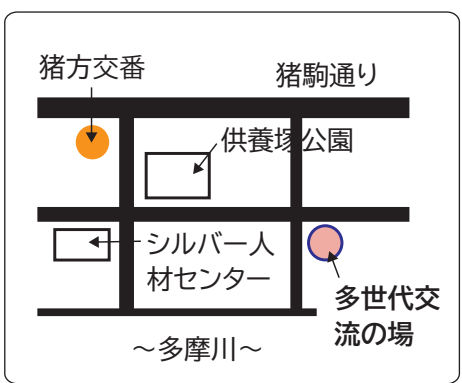
入り口



1階多目的室



2階多目的室



**荒木てつ 「なんでも相談」**

【荒木てつの連絡先】  
自宅：猪方 3-14-14  
☎3480-5047  
携帯：090-2447-4072  
mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

【鈴木えつおの連絡先】  
携帯：090-7280-7361





てっちゃん  
ニュース

第23号

猪江で育ち 教師 33年  
荒木てつ

鈴木えつお議員から  
バトンタッチ

防災士

日本共産党 市議予定候補  
党猪江市生活教育相談室長



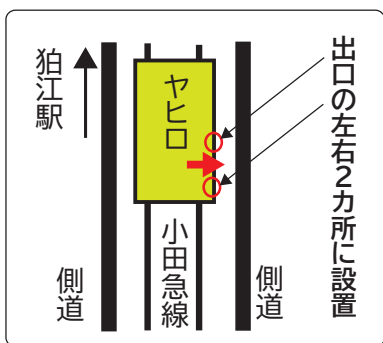
## ヤヒロの出口に カーブミラー設置実現

3月の中旬、和泉多摩川駅のスーパー・ヤヒロの出口の左右2カ所にカーブミラーが設置されました。3月21日に鈴木えつお議員と私、荒木てつは現場を確認、店長がいなかったため店員さんに、設置のお願いを伝えました。

この要望は、日本共産党市議団が昨年秋から行なっている市政アンケートに寄せられたものです。

1月21日、私、荒木てつは、鈴木えつお議員とともに、スーパー・ヤヒロを訪れ、店長に「市政アンケートに、ヤヒロ出口へのカーブミラー設置の要望が寄せられた。市に申し入れたら市は『ヤヒロ側の責任なので市では設置できない。ヤヒロ側が公道上に設置したい』と言えは市は許可する」と言っていた。ぜひ設置を検討できないかと要望しました。

店長は「カーブミラー設置の要望は以前から寄せられている。本部と相談したい」と述べられました。



市長、議長、家主さんなどが参加し「ふらつとなんぶ」のオテープカットが行なわれました

## 多世代・多機能交流拠点 「ふらつとなんぶ」オープン



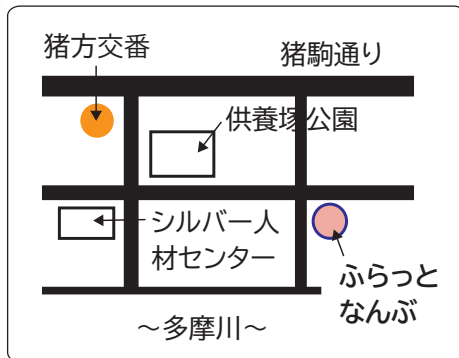
1階多目的活動室

多世代・多機能交流拠点「ふらつとなんぶ」が3月20日オープン、私、荒木てつは、交流拠点実現にがんばってきた鈴木えつお議員とともに参加しました。

当日は供養塚公園で関係者が集まり式典が行なわれ、

「ふらつとなんぶ」でテープカットが行なわれました。ここでは誰でも気軽に立ち寄り、子育てや介護の専門職など3人が常駐しています。

私、荒木てつもボランティア登録して運営に協力したいと思っています。



### 荒木てつ 「なんでも相談」

【荒木てつの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

【鈴木えつおの連絡先】

携帯：090-7280-7361







てっちゃん  
ニュース

第24号

粕江で育ち 教師 33年  
荒木てつ

鈴木えつお議員から  
バトンタッチ

防災士

日本共産党 市議予定候補  
党粕江市生活教育相談室長

# 小田急バス本社に申し入れました

- 南北直通のバス路線を
- 渋谷行きバスの増便を
- こまバスと喜多見団地行バスの時刻の重なり解消を



小田急バスに申し入れる(右から)荒木てつ、重国毅、鈴木えつお、岡村しんの各氏



申し入れでは、南部地域の交通利便の改善について、  
①南北直通のバス路線の開設、②渋谷行きバスの増便、  
③和泉多摩川駅でのこまバス

日本共産党市議団はバス路線の改善について3月8日、仙川駅近くにある小田急バス本社を訪れ申し入れました。私、荒木てつも鈴木えつお議員とともに参加しました(写真)。

と喜多見団地行バスの時刻の重なるの解消、④和泉多摩川駅から国領方面へのバス路線の新設、⑤和泉多摩川郵便局付近へのバス停の新設などを申し入れました。

## 東野川地域の交通利便の改善についても要望

東野川地域の交通利便の改善については、①粕江ハイタウンから喜多見駅行バスの増便、②京王バスのハイタウン折り返し場↓つじヶ丘駅南口路線が廃止された中で、小田急バスの既存の路線を粕江ハイタウン折り返し場を経由する路線に変更することなど要望しました。小田急バス側は、それぞれ「困難はあるが検討する」と答えました。

私、荒木てつは小田急バス本社交渉は初めてでしたが、日本共産党市議団として何

## 荒木てつ「なんでも相談」

【荒木てつの連絡先】

自宅：猪方 3-14-14

☎3480-5047

携帯：090-2447-4072

【鈴木えつおの連絡先】

携帯：090-7280-7361



度も交渉していて顔なじみになつてからか、小田急バス側も、率直に実情を語ってくれたと感じました。

乗客の減少や運転手確保の困難性などがあるようですが、住民の移動手段の確保は公共交通機関の大事な役割です。私、荒木てつは、南部地域のバス路線の改善についてつぎつぎとみます。





てっちゃん  
ニュース

2023年2.3月号

猪江で育ち 教師 33年  
荒木てつ

鈴木えつお議員から  
パトタッチ

日本共産党  
市議予定候補 防災士  
党猪江市生活教育相談室長



「てっちゃんニュース」  
バックナンバーはこちら  
から。鈴木えつおのホー  
ムページに掲載中!



## 感染症対策の拠点

# 調布・猪江に保健所復活を!

### 東京都への要請行動に参加し強く求めましたー荒木てつ



保健所復活などの要望書を都  
の担当者に手渡す荒木てつ  
11月24日、都議会内

日本共産党都議や区市町村議員、同予定候補が1月24日、都に予算要望を申し入れました。私、荒木てつも参加し、特に調布・猪江への保健所復活を強く求めました。

私、荒木てつは、「猪江を管轄する多摩府中保健所の管轄人口が104万人と余りに多く、きめ細かく対応できない。多摩地域では猪江市の感染者数が人口比で一番多く、多摩府中保健所管内の猪江、武蔵野、調布、三鷹、府中の5市が感染者数上位7市に入っている。多摩府中保健所の管轄地域は感染リスクが大変高い地域になっている。ぜひ地域住民の健康を守るために調布・猪江に保健所を復活させ



ハンドマイクで訴え (猪江駅前)

平日毎朝、駅頭宣伝もしています。私、荒木てつは、鈴木えつお議員の活動をひきつぎ、昨年10月から猪江駅と和泉多摩川駅で早朝駅頭宣伝を平日毎朝行なっています。



てほしい」と強く訴えました。しかし都の担当者の回答は「いま『都保健所の在り方検討会』で検討している」というもので明確なものではありませんでした。



多摩府中保健所の管轄人口の多さや感染リスクが高いことを示すグラフを持って都に訴えました (1月24日、都議会内)

私、荒木てつは、署名運動も行ないながら調布・猪江に、感染症対策の拠点・保健所を復活させるために、ひきつぎがんばります。



通勤者から要望も寄せられます (和泉多摩川駅前)

「市政アンケート」に要望を書いたので届けます」など市政等への要望も寄せられます。市政への要望やお困りごとなど、ぜひお気軽にお寄せ下さい。

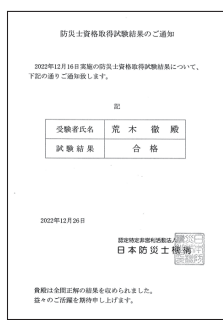
## 平日毎朝、駅頭宣伝もしています

## 防災士の資格試験に合格しました

私、荒木てつは12月に千代田区にある防災士研修センターで研修を受け、防災士資格取得試験に合格しました。

研修で最も印象深かったのは隈本邦彦先生の講義でした。隈本先生は元NHK記者の経験から、メディアは過去に起きた災害の最も重要な教訓を伝えきれていない、阪神大震災の最大の教訓は「耐震性の高い住宅に住むことが大切」ということなのに、メディアは十分に伝えていないということです。

今後、まずは、自分の家から防災対策をしっかりと行ないながら、地域の避難所運営協議会に加えていただき、実際のな訓練にも参加したいと思えます。



荒木てつ 「なんでも相談」

【荒木てつとの連絡先】  
自宅：猪方 3-14-14  
☎3480-5047  
携帯：090-2447-4072  
mail: techiem-a@softbank.ne.jp

【鈴木えつお議員の連絡先】  
携帯：090-7280-7361



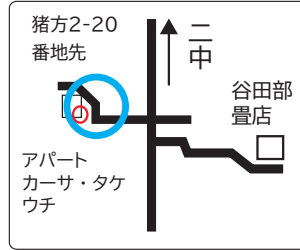
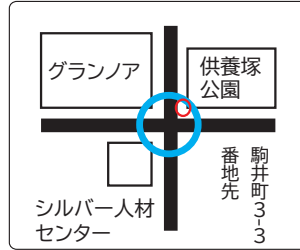
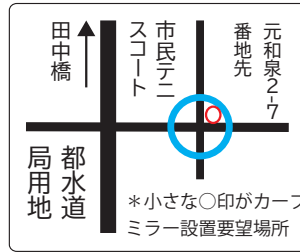
# 日本共産党市議団の市政アンケートに寄せられた カーブミラー設置など市に要望—荒木てつ



カーブミラーなどの要望を課長に手渡し鈴木えつお議員（中央）と荒木てつ（その右）=12月22日、市議会内

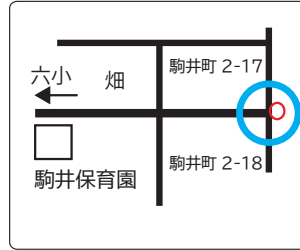
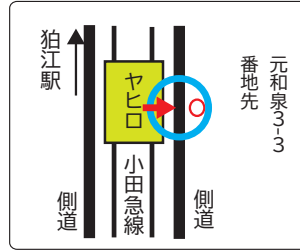


設置場所などを課長に説明する鈴木えつお議員と荒木てつ



私、荒木てつは、鈴木えつお議員とともに、12月22日、日本共産党市議団の市政アンケートに寄せられたカーブミラー設置などの要望10件を遠藤克哉・市道路交通課長に伝え改善を申し入れました。

地図はそのうち主なものの5件です。遠藤課長は「カーブミラー関係予算は今年度分は使い切ってしまったので設置するとしても来年度になる」「ヤヒロの出口はヤヒロ側の責任なので市では設置できない」と返答しました。



ない。ヤヒロ側が公道上に設置したいと言えば市は許可する」「猪駒通りのガタガタは来年度、和泉園という花屋さんがあったところ周辺を改善する」など回答しました。

## カーブミラー設置をヤヒロ店長に要請



**店長「本部と相談する」**

1月21日、私、荒木てつと鈴木えつお議員は、和泉多摩川駅のスーパー・ヤヒロを訪れ、店長に「日本共産党市議団が行なっているアンケートに、ヤヒロの出口へのカーブミラー設置の要望が寄せられた。市に申し入れたら市は『市では設置できない。ヤヒロ側が公道上に設置したいと言えば市は許可する』と言っていた。ぜひ設置を検討できないか」と要望しました。

店長は「カーブミラー設置の要望は以前から寄せられている。本部と相談したい」と述べました。ひきつぎ、実現にがんばります。

## 猪方樋管の階段にも手すりが完成



**18年から鈴木議員が要望**

1月13日に猪方樋管の階段に手すりが設置されました（写真）。

ここは市の管理している階段ですが、国も市も設置しなかつたため手すりがあつたところありませんでした。

多摩川階段への手すり設置については2018年2月に駒井町の高齢者から「散歩するとき土手に登る階段の段差が高くて怖い。手すりが欲しい」という声が寄せられ、鈴木えつお議員は同年6月議会で質問を皮切りに、くりかえし手すりの設置を求め、市も検討する旨返してきました。

## 強盗殺人事件現場周辺を訪問し要望を聞く

1月20日と21日、私、荒木てつと鈴木えつお議員は、強盗殺人事件が発生した駒井町3丁目の現場付近の住宅を訪問、要望を聞いて回りました。

「閑静な住宅街での殺人事件で驚いている」「殺されたおばあちゃんは買い物でかけるのでその時お会いした。気丈

な方でした」「マスコミと警察の人が何人も聴き込みきた」「早く犯人がつかまってほしい」などの声が寄せられました。

**防犯カメラや街路灯設置の要望が寄せられる**

また事件をきっかけに住民から具体的な要望として「土

手に防犯カメラや街路灯は設置できないのか」「供養塚公園は人が集まる場所なので防犯カメラと明るい街路灯を設置して欲しい」などの要望が寄せられています。

私、荒木てつは、住民の安心安全のために、これらの要望実現にがんばります。

**保健所復活、学校給食無償化、大軍拡・大增税反対署名にご協力を！**



てっちゃん  
ニュース  
第25号

猪江で育ち 教師 33年  
荒木てつ

鈴木えつお議員から  
バトンタッチ

防災士  
日本共産党 市議会議員

# 学校給食の全員無償化へ全力



公約実現への決意を語る（左から）私、荒木てつと、岡村しん、宮坂良子、西村あつ子の各氏=4月25日、猪江駅

## 日本共産党 荒木てつ

### 23区では7区が全員無償化

皆様、おはようございます。4月23日投票の猪江市議選で、みなさんのご支援で当選させていただいた、荒木てつです。公約実現にがんばりますので、ご支援よろしくお願いします。

私、荒木てつは、今回の市議選で、学校給食の全員無償化を公約に掲げました。

いま物価高騰で市民生活

は大変です。日本共産党市議団が行なったアンケート調査では、生活が苦しいと答えた方が、7割を超えました（グラフ）。20代の方からは、「物価が上がりスーパーで安売りしている弁当しか買つことができない。会社の業績がさがり給料が満足にもらえない」という声が寄せられ、30代の方からは「物価が日に日に

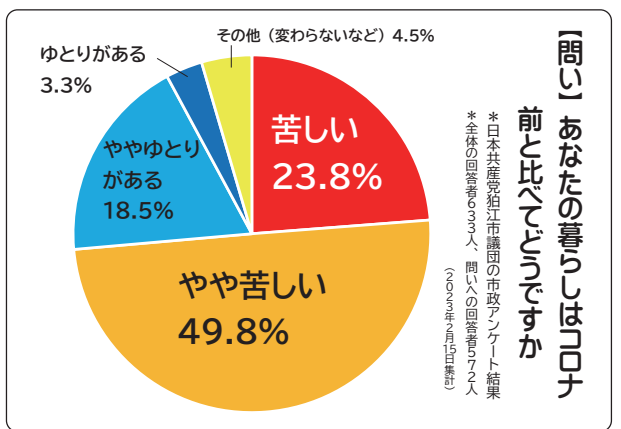
上がり食べていけない。実家に応援してもらおうが足りない」という声が寄せられています。

私、荒木てつは、物価高騰から市民生活を守るために、①学校給食の全員無償化、②18歳までの医療費の完全無償化、③市民と中小業者への物価対策の支援を実施します。

なかでも学校給食の全員無償化は喫緊の課題です。文科省の調査でも、公立小学校で年間一人約35万円、中学校で54万円もの学習費がかかっています。このなかでも学校給食費の負担は重く、猪江市の場合、小学

生2人、中学生1人の2人あの子さんがいるご家庭の場合、年間の学校給食費は14万円にもなります。

この中で、日本共産党市議団は、予算組替え提案や一般



生2人、中学生1人の2人あの子さんがいるご家庭の場合、年間の学校給食費は14万円にもなります。

この中で、日本共産党市議団は、予算組替え提案や一般

**荒木てつ 「なんでも相談」**

【荒木てつの連絡先】  
 自宅：猪方 3-14-14  
 ☎3480-5047  
 携帯：090-2447-4072  
 mail：techiemi-a@softbank.ne.jp

質問で学校給食の無償化をくり返し訴え、今年度から第3子以降は無料となりました。重要な一歩です。しかし今の物価高騰の中、これを全員無償化へと前進させなければなりません。

すでに23区では7区が小学校の完全無償化に踏み切り、2つの区が今年度中に実施予定です。全国的には250の自治体が全員無償化を実施しています。

私、荒木てつは、みなさんと力を合わせて、学校給食費の全員無償化をはじめ「義務教育は無償とする」という憲法の理想の実現に向け全力でがんばります。